

ひ隣  
との

the one next door.



## 「隣り合う」という在り方

暮らしの中で、隣り合う存在が与える影響がある。

我々は「自然」の中には溶け込めない。隣り合えるだけの存在。  
それでもその美しさに寄り添い、身を置きたくなる。  
木漏れ日を追い、風の通り道に憩い、土の匂いに安らぐように。

そして美しい邸宅であることは、隣り合って暮らす人々に変化を持たらす。  
魅力的な存在になることで、外部空間に付加価値が生まれ豊かな街並みになる。

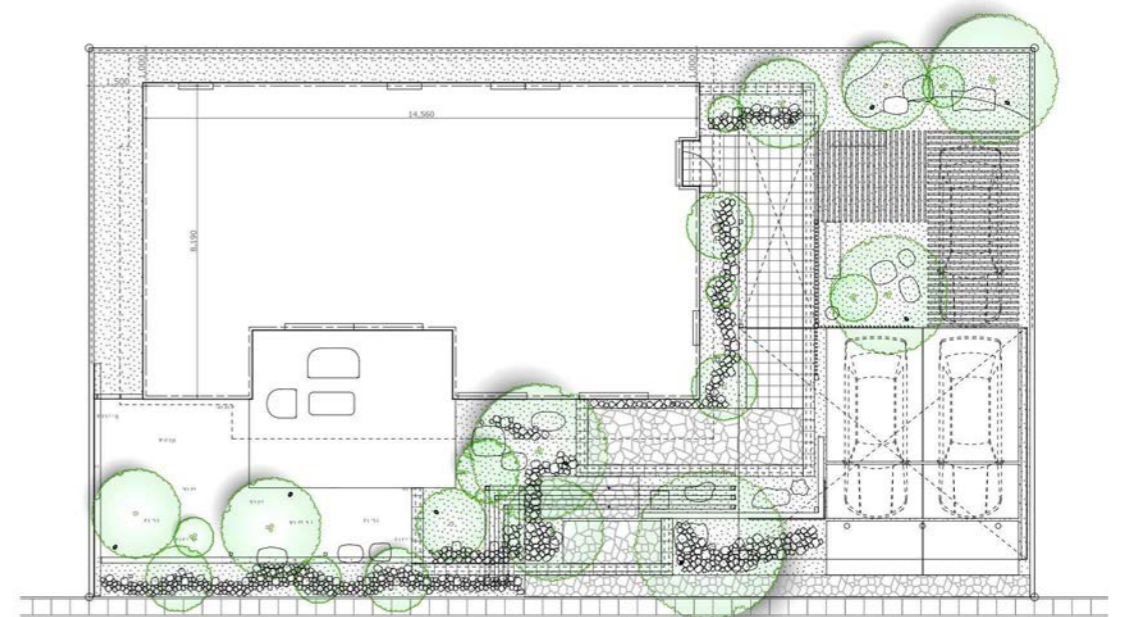
それぞれの「隣り合う」ものに視線を落とし、これからのより良い暮らしを提案していきたい。

# ひ隣の との

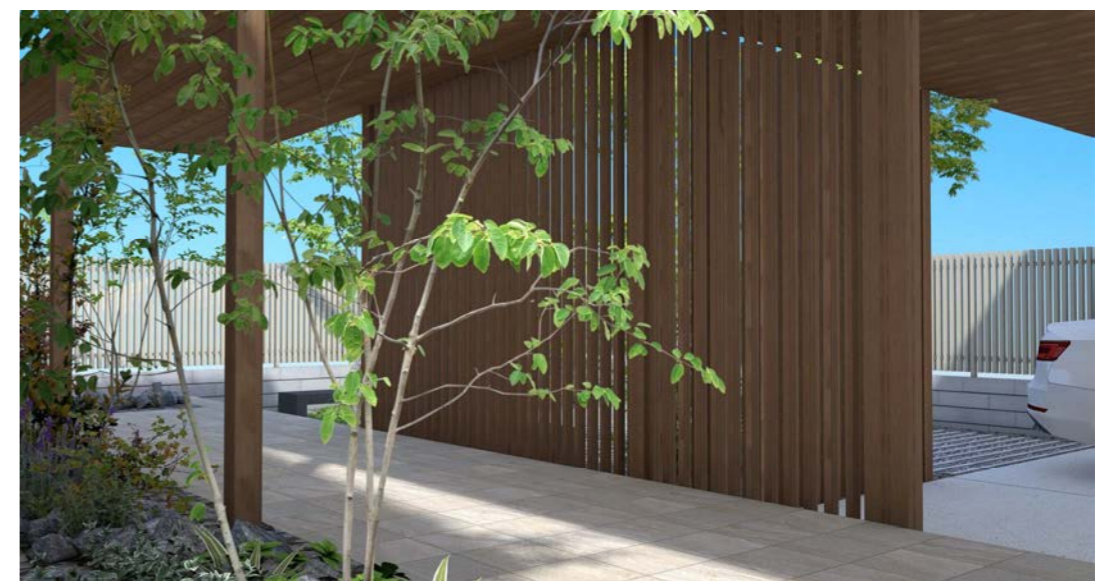
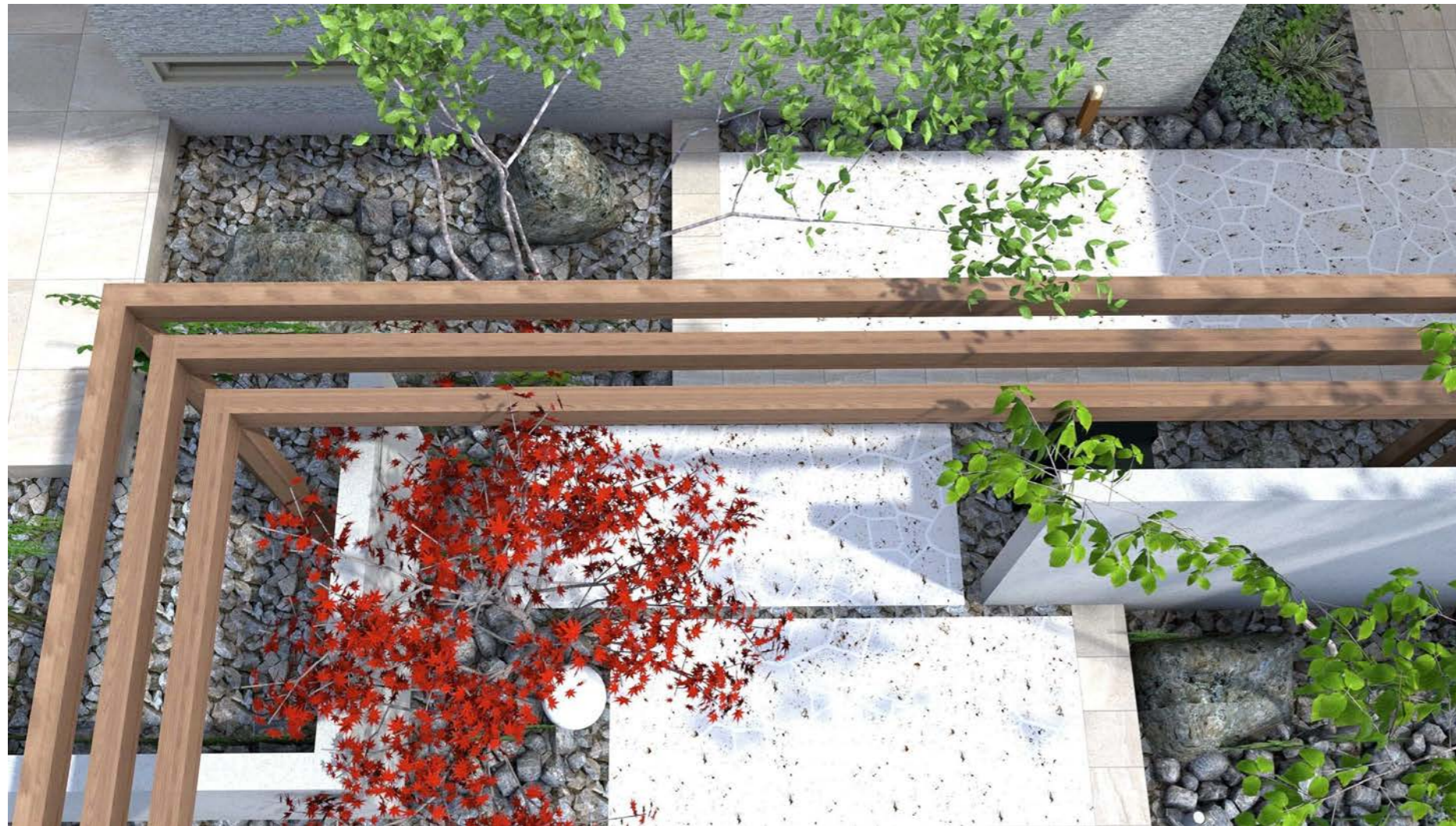
the one next door.



間口の長さを利用して、象徴的なカーポートとフレーム、シンプルな塗壁の構成で存在感のあるファサードとしている。  
目隠しや空間の仕切りなどの機能性をクリアしながら、植栽などの自然物が交わることで  
風通しの良いあたたかみのある外部空間となっている。



クランクしたアプローチ動線を軸に、駐車スペースと庭空間が  
左右に配置されたゾーニング。統一された素材とデザインで  
一体感を持たせ、各所に点在する植栽スペースが豊かな時間を演出する。



# ひ隣の

the one next door.

木目の優しい素材感が、鮮やかな葉の色や自然物と調和してあたたかみのある空間を作り出す。

直線的なデザインが空間に線を引き、空間を程よく区切りながら、爽やかな風を感じる構成としている。

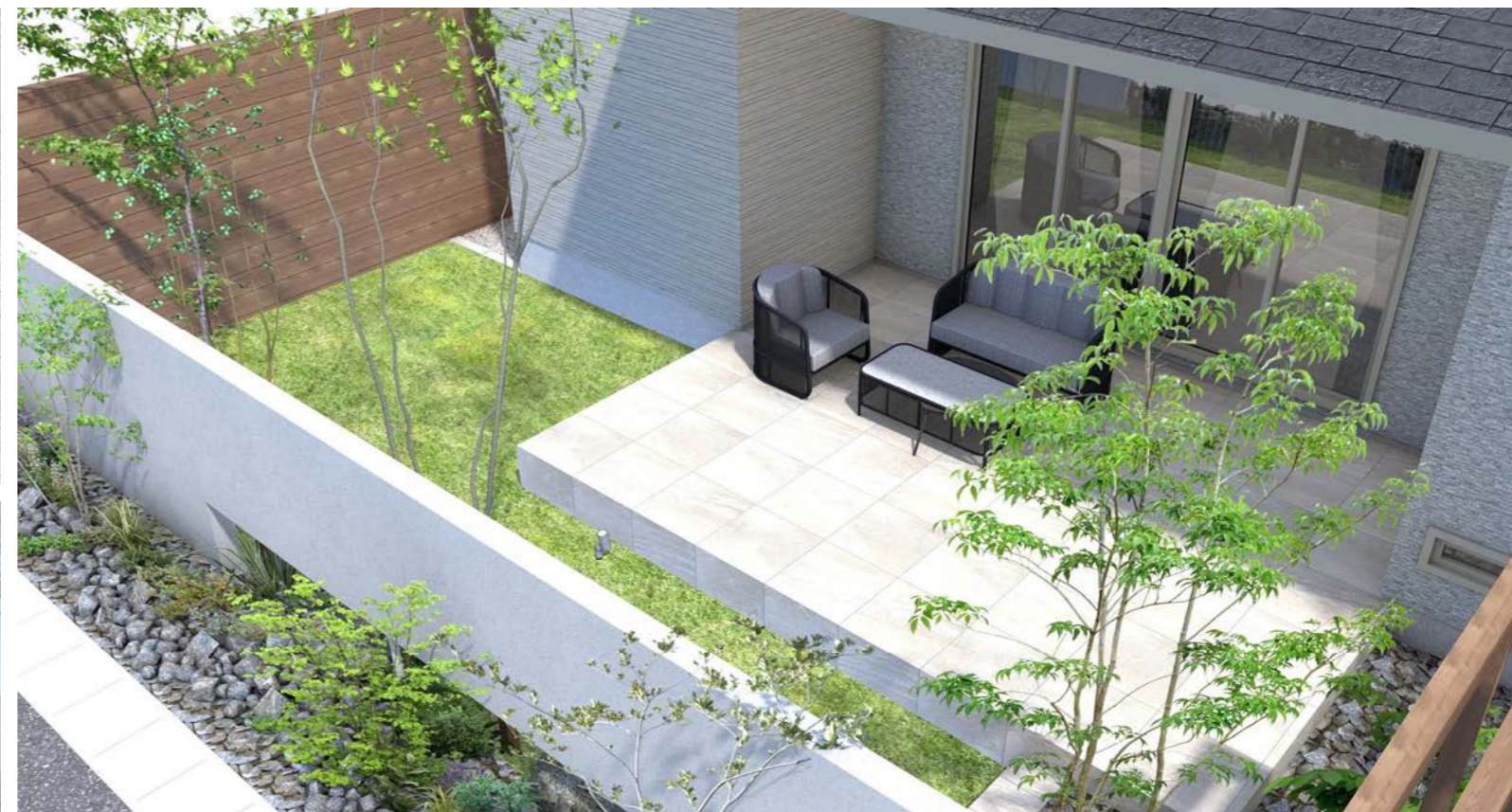
それぞれの空間に、緑が隣り合っていることで暮らしに特別な彩を添えている。





# ひ隣の との

the one next door.



アプローチを軸に左右に配置された庭空間。

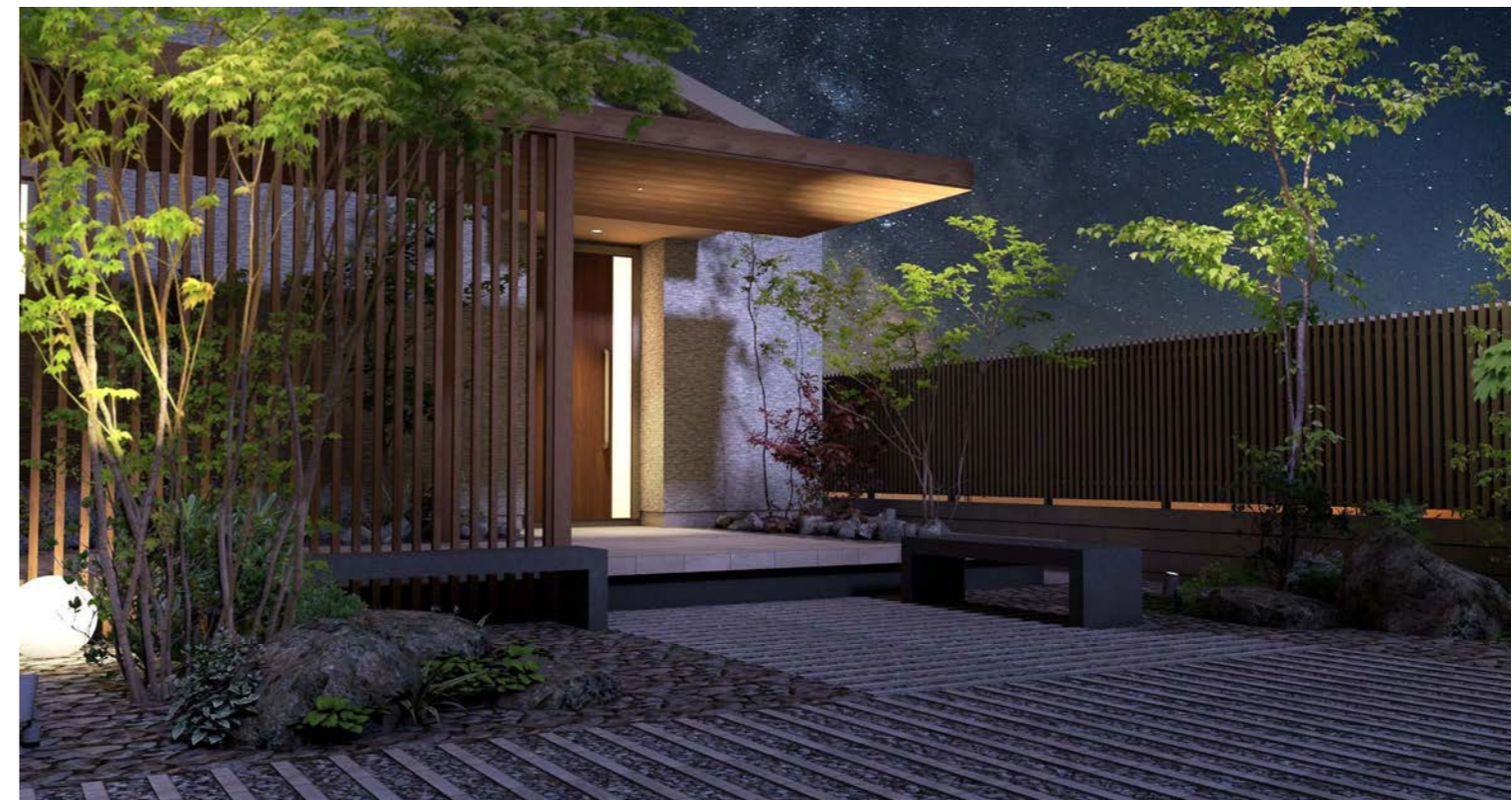
駐車スペースを抜けて、1台来客スペースを確保しながら玄関と繋がるスペースにうつろげる庭空間を。/上段  
印象的なファサードの壁を目隠しにした庭空間は、境界際に木調パネルフェンスでアクセントを兼ねた目隠しを設置。

まわりの目を気にせず自然を楽しめる空間に。/中段

アプローチ動線上に設置した宅配ボックスは、表からは見えない場所に。機能性も兼ねた計画としている。/下段

# ひ隣の との

the one next door.



光の配置ひとつで、空間は表情を変える。夜の景色に奥行きと動きを持たらす。  
ほんの少しの陰影が、行きかう人々の見慣れた帰り道を大きく変える印象になる。  
光が加わるだけで、新たな外部空間の魅力が浮かび上がる。それは、デザインより“気づき”の提案。暮らしの質を高め、人の心をそっと動かす演出になる。